

平成26年9月12日
独立行政法人 防災科学技術研究所

公開シンポジウム「最先端レーダ情報を社会に活かす」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長: 岡田義光)は、公開シンポジウム「最先端レーダ情報を社会に活かす」を下記の通り開催いたします。

現在、様々な気象レーダが開発されていますが、最先端のレーダ情報を防災の現場から皆様の生活の場まで、あらゆる場所で社会にどう活かしていくかについては、研究者と利用者双方の知恵が必要となります。

防災科学技術研究所が代表機関として進めてきました「気候変動に伴う極端気象に強い都市創り(TOMACS)」プロジェクトでは、首都圏に稠密な気象観測網を構築して極端気象の発生メカニズムを解明し、現象を早期に検出しエンドユーザーに伝達する監視・予測システムを開発し、地方自治体や民間企業との連携のもとでの社会実験をおこなってまいりました。本シンポジウムでは、とくに最先端のレーダ情報の利活用に関する社会実験の取り組みを紹介するとともに、最先端レーダ情報をどのように災害軽減や生活の質の向上に有効活用していくかについて議論することを目的としています。本シンポジウムを通じ、最先端レーダ情報の利活用的一端に触れていただければ幸いです。

申込先 <http://www.tomacs2014.org/>

1. 日 時 平成26年9月28日(日) 10:30~16:40
2. 場 所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
一橋大学一橋講堂
3. 主 催 (独) 防災科学技術研究所
4. プログラム 別紙のとおり
5. 定 員 500人(申込順)
6. 参加申込 ホームページ (<http://www.tomacs2014.org/>) の申込ページまたは
電話: 03-6277-3737 (受付対応時間 9:30~17:30) にてお申込ください。
7. 対 象 一般
8. 参加費 無料

*本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

公開シンポジウム

「最先端レーダ情報を社会に活かす」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長：岡田義光)は、公開シンポジウム「最先端レーダ情報を社会に活かす」を下記の通り開催いたします。

現在、様々な気象レーダが開発されていますが、最先端のレーダ情報を防災の現場から皆様の生活の場まで、あらゆる場所で社会にどう活かしていくかについては、研究者と利用者双方の知恵が必要となります。

防災科学技術研究所が代表機関として進めてきました「気候変動に伴う極端気象に強い都市創り(TOMACS)」プロジェクトでは、首都圏に稠密な気象観測網を構築して極端気象の発生メカニズムを解明し、現象を早期に検出しエンドユーザーに伝達する監視・予測システムを開発し、地方自治体や民間企業との連携のもとでの社会実験をおこなってまいりました。本シンポジウムでは、とくに最先端のレーダ情報の利活用に関する社会実験の取り組みを紹介するとともに、最先端レーダ情報をどのように災害軽減や生活の質の向上に有効活用していくかについて議論することを目的としています。本シンポジウムを通じ、最先端レーダ情報の利活用の一端に触れていただければ幸いです。

プログラム詳細

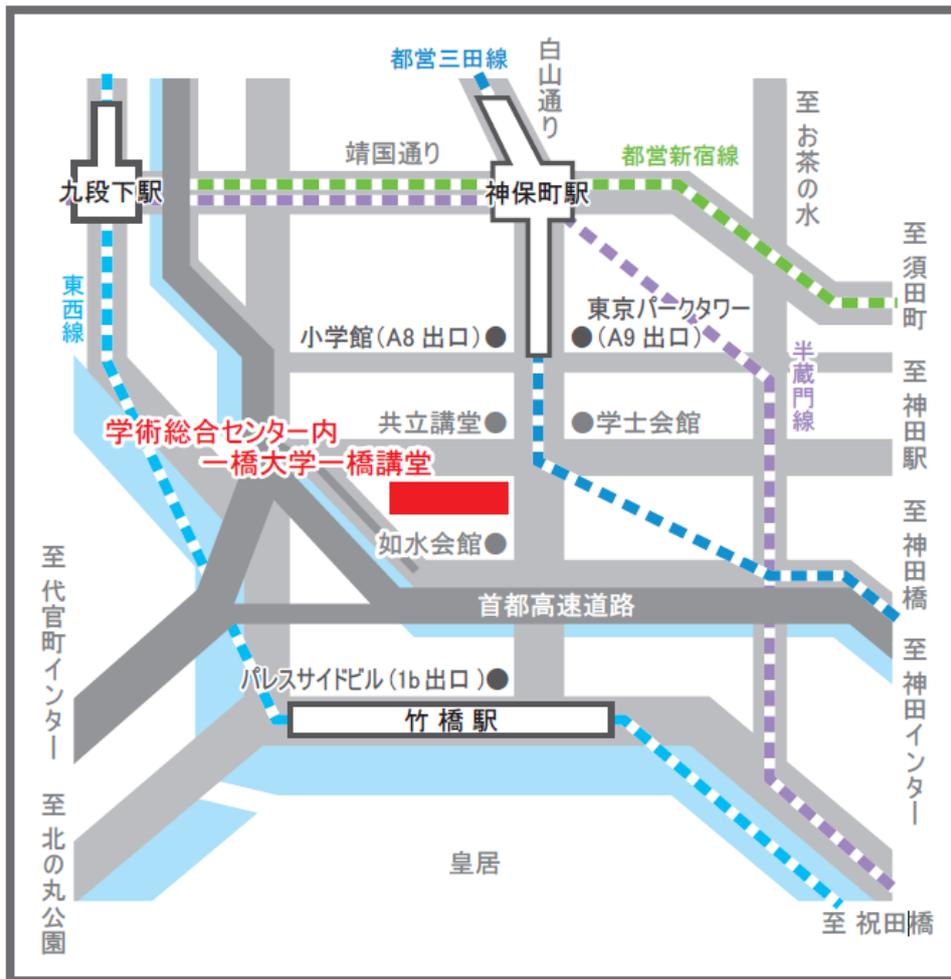
平成26年9月28日(日)

時間	プログラム内容	氏名	所属
9:30-10:30	受付		
10:30-10:40	開会挨拶	岡田義光	防災科学技術研究所 理事長
10:40-10:50	「気候変動に伴う極端気象に強い都市創り」の概要	中谷剛	防災科学技術研究所
10:50-11:10	気象情報を伝えるデザイン —デジタルサイネージを活用したXバンドMPレーダ降雨情報の伝達に関する社会実験の実施とシステム改善—	関谷直也	東京大学
11:10-11:30	東京消防庁におけるXバンドMPレーダの活用	水村一明	東京消防庁
11:30-11:50	建設現場の安全管理と気象情報の利用	大塚清敏	大林組

11:50-12:10	鉄道防災とレーダ雨量の活用	外狩麻子	JR 東日本
12:10-12:30	気象情報を活用した環境・防災教育の試み — 高校生に対する取組み事例を中心として—	横山仁	東京都環境科学研究所
12:30-13:50	昼食		
13:50-14:15	稠密気象観測による極端気象のメカニズム解明	小司禎教	気象研究所
14:15-14:40	極端気象の監視・予測システムの開発	三隅良平	防災科学技術研究所
14:40-15:10	特別講演 災害情報活用までの5つの壁 — 社会実装までの困難な道のり—	吉井博明	中央防災会議専門委員・元東京経済大学教授
15:10-15:30	休憩		
15:30-16:40	パネルディスカッション「極端気象に強い都市づくりに向けて」		
	コーディネーター	中村功	東洋大学
	パネラー(順不同)	関谷直也	東京大学
		水村一明	東京消防庁
		大塚清敏	大林組
		外狩麻子	JR 東日本
		横山仁	東京都環境科学研究所
		須谷美實	南足柄市
	三隅良平	防災科学技術研究所	
16:40	閉会挨拶	岩波越	防災科学技術研究所

* プログラムは変更する可能性があります。

一橋大学一橋講堂への経路



【一橋大学一橋講堂】

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分

※A8 出口は、近隣ビルの工事のため平成 25 年 10 月 5 日から閉鎖しております。

お越しの際は A9 出口をご利用ください。

東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分

一橋大学一橋講堂 HP より引用